

科学を”魅せる”デザインの模索とその活動

2014年10月20日(月) 18:00-20:00

研究発表やサイエンスカフェといったコミュニケーションの場では、「人と人」だけでなくスライドのような「モノと人とのコミュニケーション」の改善も必要になると考えられます。

その解決に「デザイン」を用いるのが良いのではないだろうか?と思いつき、大学で物理を学ぶかたわらグラフィックデザインの個人活動を3年ほど行ってきました。

「デザイン」することで何ができるのかを考えつつ、一学生がどのように活動を広げ何を目標しているのか、得られた経験と共にお話しできればと思います。(ゲストより)

ゲスト 山内俊幸氏

関西学院大学大学院 理工学研究科物理学専攻 修士1年

“Wimdac Studio”名義でグラフィックデザインの活動も行う

会場 京都大学 吉田泉殿

- *京町家風の建物です。
- *普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- *入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 25名程度

- *当日参加も可能です!
- *お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。

持ち物 (おながすすく時間なので)
夕ご飯を持参ください。

主催 科学コミュニケーション研究会
関西支部有志(加納 圭)



お申し込みはコチラから → <http://bit.ly/YUd1PU>